てんさい新聞

'76.10.No.232
発行 市岡
責任

こんな問題なしでいいのか？

いずれも「自然」をめぐることですが、これって問題なしなんでしょうか。その一つが、奥祖谷二重かずら橋へ。登山道をめぐるトラブルです。

私の知人が、剣山から丸石への縦走を楽しみに来た。当然下山は奥祖谷二重かずら橋という事になる。

さて、ここでかずら橋を渡らなければ、国道に出られない。ここで料金をとられた。かずら橋を渡りに来たのでもないし、別に登山道がある訳でもない。めにである。係の人に話しても決まりだから」と言う事。後日、三好市の担当に電話で抗議したら、早速、調査して文書を送って下さったという。結論を言えば「奥祖谷かずら橋管理条例で決っている」との事。又、丸石分岐に「料金徴収」することを明示して。

←鈎寺地区から

荒すのではないかと。

ご存知ですか？

あるとの事だそうです。

私は、これでいいのかとおもいます。

下山地点に明示して、あるべき、イヤでも他に行けません。途中から変更出来る場面ではない。ちょっと考えなければいけないケースではないでしょうか。

二ッ目は、県指定天然記念物でもある「黒沢の湿原」での「コンサート」です。

ミスマッチによる、名前を知ってもらうためには、よいチャンスだ。どんどんいえるという考え方もあり。「人が来る」

さて、湿原の植物群に悪影響を与えかねないという不安があります。

それは、多くの人が集まる。まして夜です。その辺の湿原が踏みとし言えるのです。トイレも……。

考え方で反対です。

日本全国の山をはじめ、自然関係の観光。

ぜ、私は後者の考えで反対です。

ぜ、オバーユースという問題をかかえています。

いずれも、県指定天然記念物せばいいのでしょうか。

いまに、じい方法がみつかっていないのです。

ましてや、県指定の天然記念物という「宝」の黒沢湿原です。

たった一夜とはいえ、私は興味あるとおもいます。

文化財保護の委員の考え方、聞いてみたいものです。

たまたま九月黒沢湿原に行く機会があり、「守る会」の メンバーの人に、植物群で珍しい山野草をお教えてもらうばかりで、より強くが メだなあと感じました。

「観光」という面もあるのですが、私達は、どんな観光をめざ